

真宗学会

◇卒業論文中間発表会

十二月七日(水)

於 図書館講堂

「大菩提心について」

足利 芳文

「真実行の研究」

江馬 文博

「第二十願の研究」

小栗栖法秀

「独立者」

河谷 徳雄

「二種深信」

高堂 祐真

「愚禿の自覚」

松山 宗恵

出席||藤原・広瀬・幡谷・寺川各教授、白

井助教授、本多、小野、江上各講師、安

富助手、井上・秦特研員、経隆特研生、

他学生百数十名。

◇『親鸞教学』第三二号発行

論議の使命―入出二門の源泉―

安田 理深

実験の教学

―近代真宗教学についての覚書―

幡谷 明

随順師教の意義

江上 浄信

本願の表現世界―三信の歩みとして成就

する衆生の信―

井上 恵樹

唯除の問題

経隆 優

二河喩の顕すもの

稲葉 秀賢

深く信ずる心

曾我 量深

真言と解釈(2)

金子 大榮

仏教学会

◇公開講演会

十二月一日(木)午後四時より

於 図書館講堂

講演題目『依他起性をめぐって』

講師 竜谷大学教授 武内紹晃氏

出席者||学会長佐々木教悟教授をはじめ、

教職員及び学生八十余名。

講演終了後、図書館会議室において、武

内先生を囲んで座談会がもたれた。

◇仏学会例会

十二月八日(木) 午後二時より

於 第一番教室

研究発表

一、普寂の唯識観

博士課程三回 稲垣 淳造

一、阿含にあらわれたMaraについて

博士課程三回 龍池 修

一、法身について

―総合IIにおいて考えたこと―

本学助教授 三桐 慈海

出席者||学会長佐々木教悟教授他、教職員

及び学生二十余名。

◇卒業・修士論文梗概発表会

一月二十五日(水)午後二時半より

於 第一会議室

学会長挨拶のあと、卒業論文提出者七十

八名、修士論文提出者十四名のうち、三十

六名が論文要旨を発表した。

出席者||学会長佐々木教悟教授他、教職員

及び学生五十余名。

梗概発表のあと、学生食堂にて送別会を

兼ねささやかなパーティを開いた。

◇『仏教学セミナー』第26号発行

目次

仏陀の教説と空の思想

―『中論』第二十四章「四聖諦の考察」

の研究―

安井 広済

Mukhya (最勝智) と Sainyavaharika

(世間的直接智)

―Pratīnakāraṇasāstraを中心にして―

吉蔵の注疏にみられる宗教的課題
長崎 法潤

元曉の涅槃宗要

—特に淨影寺慧遠との関連—

三桐 慈海

木村 宣彰

Zamariyaparicheda (名色差別論)

柏原 信行

—第三の差別—

書評・紹介

佐々木現順著『基本パーリ語文法』

野々目了

香川 孝雄

小川一乗著『空性思想の研究』

—入中論の解説—

瓜生津隆真

Nahmal Tatia (ed.): Abhidhar-

masannuccaya-bhāṣyam

吉元 信行

海外学界ニュース

韓国仏教史蹟踏査記

村松 法文

(一部七〇〇円、仏教学研究室にて取扱中)

宗 教 学 会

◇宗教学公開講演会

一月二十日(金)午後二時半より

於 図書館会議室

キェルケゴールの宗教哲学

講師 関西大学教授 東 専一郎氏

出席者 坂本教授、大屋教授、古賀助教授、

堀尾、築山助手、院生及び学生多数。

キェルケゴールの宗教哲学の核心に触れた難解な問題が提起され、示唆深い講演であった。

であった。

◇宗教学修士論文発表会

二月三日(金)午後二時半より

於 四〇五教室

鈴木大拙における「悟り」の問題

発表者 染木 幸雄

出席者 堀尾、築山助手、院生ほか学生約

三十名。

よく纏まった発表であり、質疑応答も活発に行なわれた。

西 洋 哲 学 会

倫 理 学 会

◇公開講演会

十二月五日(月)二時半より

於 第一会議室

パリー大学「哲学部」の成立と

トマス・アキナス

講師 同志社大学教授 日下 昭夫氏

出席者 訓彌助教授、箕浦助教授、鈴木助

教授、築山助手、寛、藤井特研員、院生

ほか学生約六十名。

パリー大学「哲学部」の成立事情をめぐったの興味ある講演であった。

◇木場深定教授 最終講義

講題 「話」の哲学

日時 一月十八日(水)午後一時より

場所 三〇三番教室

哲学研究室関係教職員、院生及び学生を

はじめ多数の聴講者が会場をうめ、淡々と語られる味わい深い講義に一同感銘を

受けた。

西 洋 哲 学 会

◇西洋哲学コース卒業論文発表会

日時 二月六日(月) 於 羽衣荘

「デカルトのコギト」 奈良 守康

「J・ロックの経験論」 東 享

「デカルト研究」 坊 延隆

訓彌、箕浦両助教授、寛、藤井両特研員ほか専攻学生多数参加し、右の発表があり、活発にして盛会であった。

教育学会

◇公開講演会

十二月十四日(水)午後三時

於 視聴覚教室

講師 今村 要道氏

(日本性教育研究会常任理事)

講題 学校における性教育の諸問題

講演のあと、教育学研究室にて今村氏を

囲んで、太田教授、大竹助教授、田中専任

講師、土戸助手および学生多数によって、

活発な質疑応答が行なわれた。

◇卒業論文発表会

二月四日(土)午後一時 於 第一会議室

三回生の主催によって、昭和五十三年三

月卒業予定者の卒業論文の要約発表が行わ

れた。

参加 太田教授、大竹助教授、田中専任講

師、土戸助手ほか三回生多数。

◇教育学会機関誌『教育』第二号発行

発行日 一九七八年二月一日

内容は、昭和五十一年度講演会記録、

教員、学生の論文、エッセイ等。

◇昭和五十三年度四回生卒業研修旅行

三月二十六日(日)〜三月三十日(木)
行先 四国一周(高松―高知―足摺岬―滑

床―松山―高松)

参加 昭和五十三年度四回生十六名(男子

七名、女子九名)および土戸助手。

新年度四回生が卒業の年を迎えるにあた

って、研修をかねた卒業旅行を行なった。

社会学会

◇公開講演会

十二月一日(木) 於 第一会議室

講師 岡 満男氏(同志社大学教授)

講題 新聞ジャーナリズムの世界

講演後、岡氏を囲んで、高橋教授、志水専

任講師、寺林特研員および多数の学生が活

発な質疑応答を行なった。

◇社会学会機関誌『社会学ノート』創刊号

発行。

発行日 一九七七年十二月二十日

内容は、学生の各研究グループの発表と個

人論文。

国史学会

◇国史学会秋季大会公開講演会

十二月三日(土)午後一時 四〇六教室
〈公開講演〉

一、熊野の聖について

本学助手 豊島 修氏

一、隠遁と修道

本学教授 五来 重氏

一、『峯相記』の世界

関西大学教授 藪田 香融氏

出席者 柏原教授、堅田教授、佐々木孝

助教授、木場特研員、和田秀乘氏(高野

山大学教授)、吉田清氏(花園大学助教

授)、橘泰堂氏(花園大学講師)、木村至

宏氏、山香茂氏、佐々木令信氏、大学院

生、文学部学生八十名。

◇国史学会機関紙『尋源』(30号)発行

〈論文〉

一、聖徳太子四天王寺草創説話考

堅田 修

一、近江に於ける宮座推移の一考察

―城陽市平川・平川神社の場合―

山香 茂

一、道と庶民信仰

木村 至宏

一、摂州三昧聖の研究

上別府 茂

―特に千日墓所三昧聖を中心として―

〈研究ノート〉

一、備後神楽の亡霊供養

西田 啓一

五来重先生御退任送別の辞 柏原 祐泉

〈新刊紹介〉

豊島 修

〔昭和五十三年三月刊〕

日本仏教史学会

◇公開講演会

十二月十六日(金) 午後三時

民俗信仰と仏教

於 一号館第一会議室

京都女子大学教授 高取 正男氏

参加||北西教授、名畑助教、大桑専任講

師、佐々木(令) 助手、院生・学生四十
五名。

◇送別懇親会

一月十八日(水) 六時

於 聖護院河道屋

参加||北西教授、名畑助教、大桑専任講

師、佐々木(令) 助手、院生・学生四十
名。

◇二回生研究旅行

二月五日(日) 六日(月)

一日行程 京都駅集合、書写山圓教寺、姫
路福田旅館泊。

二日行程 姫路城、現地解散。

参加||大桑専任講師、佐々木(令) 助手、
学生十四名。近藤昌丸氏来宿。

◇四回生送別懇談会

三月二十三日(木) 三時

於 リバーサイド浴苑

参加||北西教授、名畑助教、大桑専任講
師、佐々木(令) 助手、学生十余名。

◇四回生謝恩会

三月二十四日(金) 四時

於 ポツケロ 芹生

参加||北西教授、名畑助教、大桑専任講
師、佐々木(令) 助手、学生十余名。

◇三回生史蹟踏査(行基遺跡めぐり)

三月二十六日(日) 午前九時

正門前集合、大鳥神社、家原寺、大野寺、
土塔、久米田池、久米田寺、京都にて会
食後散会。

参加||名畑助教、佐々木(令) 助手、学
生四名。

東洋学会

◇野上俊静先生特別講演会

二月四日(土)

於 三〇一教室

講題||学究生活五十年のあゆみ

野上俊静先生が本年三月をもって定年の
ため、本学教授の任より退かれた。これを
記念して講演会、懇親会が行なわれた。先
生の教えを受けた人々を中心として、学部
学生、大学院生、教職員を含む大教室がほ
ぼ満員となり、盛会裡に終った。

〈懇親会〉

於 四条河原町 桃園亭

午後五時より、八十有余名の参加者を得
て、盛大且つ和やかな雰囲気の中に、野上
先生の古稀とご退任をお祝いして閉会した。
なお、一月には、野上俊静教授頌寿記念
刊行会(東洋学研究室内)より、先生の御
著書『元史釈老伝の研究』が刊行された。

東洋史学会

◇一夜研修会

十二月二十一日(水)

於 光明寺会館

野上教授、藤島助教授の指導の下に、専
攻学生十五名余の参加を得て行なわれた。

国文学会

◇『文芸論叢』第一〇号発刊

目次

「臨終詩」論 平野 顕照

『平家』成立の背景―歴史語りと鎮魂―

渡辺 貞麿

謡曲と俳諧―貞門・談林を中心に―

山本 唯一

「浅茅が宿」の構成―流離七年について―

鷺山 樹心

壬生水石資料

水田 紀久

近世真宗関係略縁起

石橋 義秀

近世勸化本刊行略年表

後小路 薫

英文学会

◇大谷大学英文学会開催

十二月八日(木) 於 一六番教室

〈研究発表〉

一、コールリッジ研究

本学助教授 山下 登氏

一、ウォレス・ステイヴンスの詩と現実

本学専任講師 酒井 信雄氏

◇『英文学会会報』第五号発行。

〈論文〉

一、U・S・Aの「カメラ・アイ」(1)、

(2)評釈 広瀬 英一

一、滞欧日記 山下 登

一、マンスフィールド「初めての舞踏会」

市橋 弘道

について

独文学会

故外村完二名譽教授の御遺族より、先生の貴重な蔵書が図書館に寄贈された。整理の後、利用できることになった。

短期仏教科

◇一・二回生合同懇談会ならびに送別会

一月二十一日(土) 正午〜二時

於 一番教室

参加者―渡辺短期大学部長、白井短期仏教科主任、三桐、大門、江上、小川、古田の各先生、片野助手、学生五〇余名。

短期国文科

◇仲野良一教授御退職謝恩送別会

昭和五十三年三月二十五日(土) 午後三時

於 糺ノ森・プリンスホテル

国文学関係教職員、先生の御指導を受けた卒業生・在校生四十名の参加を得、来賓として中川浩文龍谷大学教授・浜千代、清京都女子大学教授の御出席をいただき、永年にわたる先生のあたたかい御指導に對して、感謝の微意を捧げた。